

高島産地

綿糸高騰、再度の値上げへ

糸不足も顕在化

綿花相場の高騰が続いている。タイムラグはあるものの綿糸価格も伴って高騰、高止まりしており、綿糸を購入して織物や編み地を生産する産地企業を直撃する。糸不足も顕在化しつつある。

滋賀県・高島綿織物産地で「高島ちぢみ」などの軽布を製織する企業は、商社などから糸を支給される賃織りではなく、自らで購入する手張りの方式が大半。多くの織布企業が今春に第一弾の織物価格引き上げを販売先に依頼し、おおむね受け入れられた。

しかしその後も綿糸は高騰。現時点では「まだ今ほど高くない時に購入した綿糸が残っている」

が、それも尽きてきており、再度の値上げが必要になる」というのが大方の見解だ。既に最高値の綿糸を購入したため、迅速な値上げが必要」と再度の値上げ交渉に向けて気を引き締める織布企業もある。

衣料品価格のデフレが改善されていない現状、販売先が再度の値上げを受け入れるかは未知数。しかし大幅な綿糸高騰を受けて同産地では「それ(再度の値上げ)によって仕事が減ったとしても仕方がない」という声が大勢を占めている。それほど今回の綿糸高騰のインパクトは強い。

同産地の織布スペースは繁忙期に突入して「かなり組む一環として、排気電への切り替えなど

直接的な打撃を受けている。染色加工場の高島晒協業組合(高島市)も「あらゆる原材料価格が高騰し、大変な状況」とこぼす。加工スペースは多くの織布企業と同じく「近年最高水準の埋まり具合だが、重油を筆頭に染料・薬剤などのコスト高が利益率の低下を招いている」。

「このままだと仕事をすればするほど赤字。我慢の限界に達した」と、年明け1月から加工料金の引き上げ交渉を本格化する予定だ。

を予定する。日本が2050年のカーボンニュートラル実現に向けて30年に13年度比46%のCO₂排出量削減を掲げる中、これらの取り組みで40%の削減を実現する。今月に水処理メンテナンス会社のスイレン(群馬県高崎市)が開発した流下液膜式熱回収装置「リカロ」を導入した。熱回収効率の高さやメンテナンスのしやすさなどが特徴。

これまで多管式の熱交換器をソーパァーに付けていたが、新たにリカロを精練機に設置した。廃液(85~90℃)の熱を利用して常温水を70℃まで上げることができ、24時間稼働の場合1日に245kgのCO₂排出がなくなるという。これまで設置していた多管式の熱交換器は、メンテナンスに専門の技術者を呼んで1日かかり、性能の維持が難しかった。従来の装置は約10分の大きさだったが、リカロは80×56(30タイプ)と小型で、ふたを開けて簡単に洗浄できると言う。

柱用途のアウトドアでは、サステイナビリティへの要望が高く、フィールの植物由来化や脱有機溶剤など環境配慮型加工の開発とともに、生産工程での環境負荷低減に注力している。CO₂排出量は、13年に年間9700トンドったが今年7700トンドなる見通し。今回の熱交換器導入や工場を使う電力の太陽光発電化などで、13年度比40%減までの道筋を付けているという。リカロは、効果を見ながらソーパァーでの導入も検討する。

スイレンは5年前にリカロを開発し、食器の洗浄やリネンサプライなどで販売してきた。繊維での導入は2社目で、テキワワンへは三井物産ア

テックワン

流下液膜式熱交換器を導入

CO₂削減40%以上が視野に

染色加工のテックワン(石川県能美市)は、サステイナビリティの取組みの一環として、排気電への切り替えなど

水から熱エネルギーを回収して再利用する熱交換器を導入したほか、太陽光発電への切り替えなど

を拡大できたという点に大きな意味があると感じています。

——下半期、来期の方針を。

下半期も攻めていきま

川越政の2022年3月期上半期業績は、売上高15億5200万円(前年同期比34.6%増)、営業利益35%増の大幅増収です。

——社員への配慮を感じます。

上半期終了時に行った個人面談では会社でのストレス報告がありませんでした。この業界では珍



川越政 社長
川越 浩治 氏



は大幅増収増益だった。その要因と今後の方針を川越浩治社長に聞いた。

同志として助け合って

多くの新型コロナウィルス禍の影響を大きく受けて苦戦を続ける産地商社の中にあって、川越政(大阪府中央区)の2022年3月期上半期業績

は、新型コロナウィルス禍の影

は、新型コロナウィルス禍の影

は、新型コロナウィルス禍の影

は、新型コロナウィルス禍の影

は、新型コロナウィルス禍の影

は、新型コロナウィルス禍の影

は、新型コロナウィルス禍の影

は、新型コロナウィルス禍の影

繊維市況

11月22日

中国の繊維相場

出所：中国紡織経済信息网(カッコ内は前営業日比上昇率、▲は下落率)

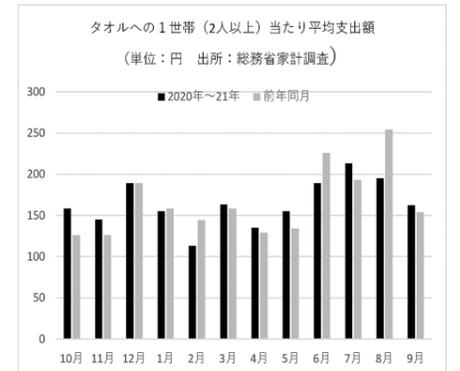
綿花(元/ト)	23,871 (▲58)	ナイロン関連(元/ト)	13,850 (0)	純綿糸(元/ト)	17,540 (0)
1129B	23,223 (▲12)	カプロラクタム	17,850 (0)	オープンエンド(10単)	29,220 (0)
2129B	22,683 (▲27)	POY(96T/24F)	18,700 (0)	カード(32単)	32,780 (0)
3128B	21,781 (▲33)	FDY(78T/24F)	20,500 (0)	コーマ(40単)	18,880 (0)
4128B	21,963 (▲40)	DTY(78T/24F)	15,300 (0)	その他紡績糸(元/ト)	12,450 (0)
1228B	21,270 (▲10)	アクリル関連(元/ト)	20,800 (0)	レーヨン100%(30単)	21,250 (0)
2227B	4,830 (35)	アクリロニトリル	21,500 (0)	ポリエステル100%(32単)	8.71 (0.00)
ポリエステル関連(元/ト)	5,060 (20)	短繊維(1.7T×38 ³)	39,400 (0)	ポリエステル編履(45単)	6.53 (0.00)
高純度テレフタル酸	7,100 (0)	短繊維(1.7T×38 ³)	13,500 (0)	生地(元/ト)	9.04 (0.00)
エチレングリコール	7,500 (▲250)	トップ(3.3T)	76,000 (▲500)	30単レーヨン/短繊維織物	4.22 (0.00)
短繊維(1.6T×38 ³)	9,200 (▲250)	レーヨン(元/ト)		45単ポリエステル編履ポリア	4.9 (0.00)
POY(167T/48F)	8,200 (▲300)	長繊維(133T)			
DTY(167T/48F)		短繊維(1.7T×38 ³)			
FDY(76T/24F)		スパンデックス(元/ト)			
		長繊維(44T)			

日本の紡績糸相場は毎週月曜日(休刊日の場合は翌営業日)、日本の合繊糸・織物・タオル相場は毎月第2金曜日(同)に掲載します。

消費動向を見る

総務省「家計調査」より

タオル 9月 前年同月比5%増



総務省「家計調査」によると、タオルへの1世帯(2人以上)当たり平均支出額は9月、前年同月比5.0%増だった。3月以降、6、8月を除いて前年同月を上回っている。

ニューヨーク綿花

ニューヨーク綿花(0.01米 ² /坪)	11月19日				
21/12	22/3	22/5	22/7	22/10	22/12
寄付	11762	11514	11381	11021	9199
高値	12029	11699	11534	11141	9754
安値	11721	11470	11322	10990	9754
引値	11922	11643	11478	11089	9754
前日比	▲163	▲129	▲119	▲68	▲79

豪州羊毛

豪州羊毛	豪セント/キロ
EMI(11月18日)	1324